

1月 新着図書

気の毒ばたらき

著者名:宮部 みゆき
 出版社:PHP研究所



千吉親分の文庫屋が火事だ！現場に駆け付けた北一が見たものとは。謎解き×怪異×人情が味わえる人気シリーズ第三弾！

さかさ星

著者名:貴志 祐介
 出版社:KADOKAWA



戦国時代から続く旧家、福森家の屋敷で起きた一家惨殺事件。遺体はいずれも人間離れた手口で破壊されていた。福森家の親戚にあたる中村亮太は、祖母の頼みで、霊能者の賀茂禮子と共に事件を調査することに。賀茂によれば、福森家が保管する名宝・名品の数々は怨念と憎悪に満ちた恐るべき呪物であり、何者かがそれらを利用して事件を引き起こしたのだという。驚愕する亮太を数々の怪現象が襲い、一家の生き残りの子供たちにも魔の手が。誰が何のために呪いを仕掛けたのか。旧家の歴史に隠された、おぞましい秘密が今、明かされる。

夜刑事

著者名:大沢 在昌
 出版社:水鈴社



通称・ヴァンパイアウイルスに感染し、太陽の下で活動できなくなった刑事の岬田は、その代償として研ぎ澄まされた五感を手に入れた。岬田は、警察と犯罪者たちの思惑に翻弄されながら、ウイルスを感染させた元恋人を捜そうとするが、一。著者史上、最も孤独で美しいヒーローをフルロットルで描く、待望の新シリーズ！

小鳥とリムジン

著者名:小川 糸
 出版社:ポプラ社



やっどドアを開けることができたお弁当屋さんが、その人との出逢いの場になりました。いいにおいをかぐこと。おいしいものを味わうこと。いやなことはいやだと言うこと。大好きな人に触れること。心と体を取り戻す、いとおいしい物語。

大阪 人づくりの逆襲

著者名:石川 智久
 出版社:青春出版社

グローバル化、時間効率化、働き方改革…関西企業もこの波に乗ろうとしていました。でも、そんなことをしなくても、関西には昭和感いっぱいだけど、でも着実に売り上げを伸ばし、社員や住む人を幸せにする企業がたくさんあります。じつはそれはいま話題の「逆タイムマシン経営」でもあり、新しい経営の指針となるものばかりです。自分たちの強みにまだ気づいていない大阪企業のみなさんに自信を与え、全国の企業には会社を元気にするヒントを提案する一冊。

タブー・トラック

著者名:羽田 圭介
 出版社:講談社



世間が抱くクリーンなイメージを維持するために、押しつぶされそうになる俳優。過去の失敗から、自らをコントロールすることに腐心する脚本家。不祥事を起こした著名人をSNSで弾劾し、恵まれない人生の憂さ晴らしをする会社員。親に黙って整形し、歌とビジュアルを武器に動画配信で荒稼ぎする女子高生。タブーに縛られ、タブーに魅せられた人生が交錯する先に現れたのは、「理想」の世界か、それとも一？

架空犯

著者名:東野 圭吾
 出版社:幻冬舎



誰にでも青春があった。被害者にも犯人にも、そして刑事にも一。燃え落ちた屋敷から見つかったのは、都議会議員と元女優夫婦の遺体だった。華やかな人生を送ってきた二人に何が起きたのか。『白鳥とコウモリ』の世界再び—シリーズ最新作。

恋とか愛とかやさしさなら

著者名:一穂 ミチ
 出版社:小学館



プロポーズの翌日、恋人が盗撮で捕まった。カメラマンの新夏は啓久と交際5年。東京駅の前でプロポーズしてくれた翌日、啓久が通勤中に女子高生を盗撮したことで、ふたりの関係は一変する。「二度としない」と誓う啓久とやり直せるか、葛藤する新夏。啓久が「出来心」で犯した罪は周囲の人々を巻き込み、思わぬ波紋を巻き起こしていく。信じるとは、許すとは、愛するとは。男と女の欲望のブラックボックスに迫る、著者新境地となる恋愛小説。

47都道府県女ひとりで行ってみよう

著者名:益田 ミリ
 出版社:幻冬舎



日本には47都道府県もあるのに、行ったことがない場所があるというのはもったいないなあ。というわけで、全部行ってみることにした。33歳の終わりから37歳まで、毎月東京からフラッとひとり旅。名物料理を無理して食べるでもなく、観光スポットを制覇するでもなく。その時の自分にちょうどよいペースで、「ただ行ってみるだけ」の旅の記録。

かすうどん男

著者名:畑 博貴
 出版社:幻冬舎メディアコンサルティング

「愛と感謝があれば何してもええんよ」仕事と人生で大切なことはかすうどんが教えてくれた—誰よりも楽しんで働かすうどん・焼肉屋の大将が仕事のやりがいに悩んでいる人の心を軽くする一。

1月

新着図書

北歐こじらせ日記 フィンランド起業編

著者名:週末北歐部chika/著
出版者:世界文化社

北歐こじらせ日記シリーズ第4弾! 職場であるレストラン倒産後、個人事業主として活動を始めた著者の最新情報を初公開。移住の夢をかなえ、1年たって失業、そこからの再挑戦に踏み出す著者の等身大の姿に励まされます。一人で仕事をする不安と孤独感を抱えるなかで、新たな仲間やコミュニティ、フィンランド人の仕事観との出会いなど、人生を楽しむヒントがたくさん詰まっています。

ノラネコぐんだんピザをやく

著者名:工藤 ノリコ
出版者:白泉社

今回は「ワンワンピザ」が舞台。ノラネコぐんだんが窓からお店をのぞいていると、ワンワンちゃんが配達注文の電話を受けていて……!? けっしてほめられた行動ではないのに、お店に勝手に忍び込み、みんなで協力してピザづくりに励むノラネコぐんだんの姿が、なんともいとおしい!

青い絵本

著者名:桜木 紫乃
出版者:実業之日本社

「最後の絵本なの。手伝ってくれないかしら」絵本作家として活躍する高城好子はかつて美弥子の継母だった。漫画家のアシスタントを生業とする美弥子は、旅の誘いを受けて再会した好子が余命幾ばくもないと悟る。共同制作したいという好子の望みを叶えるため、“母”と“娘”は湖畔のホテルで絵本『あお』の構想を深め合う…(「青い絵本」)。作家、編集者、セラピスト、書店員—さまざまな形で絵本に関わる人々が、絵本を通じて過去と対話し再生する姿を、静謐な筆致で紡ぎ出す。

おしりたんていいかいとうUのおとしもの

著者名:さく・え
出版者:ポプラ社

おしりたんてい事務所に、おとしものを探してほしいと書かれた依頼の手紙が届いた。そこには「みつけれなかったらこの世界がおわるのだから」というなぞのことばも。差出人は、かいとうU。おとしものがあるというウーン荒野に向かったおしりたんていとブラウンは……。そして、なぞのおとしものとは……。